

高穂西地区 土地改良事業計画概要書

地域 の 所在 及 び 現 況	1 目的									
	地区内の老朽化した開水路をバイブライン化することにより、経常的な維持管理の節減・将来的な自動給水栓の導入を図る。また、前歴未整備ほ場に於て大区画化・暗渠排水整備を行うことにより、大区画ほ場では自動操舵トラクター導入の検討が可能となる。地区内ほ場の整備水準が一定になることで、地区の担い手への農地集積・転作物導入の促進を図る。									
	2 (1) 地域の所在		北海道雨竜郡沼田町							
	(2) 地域の現況									
	ア 地 形		沼田町東部に位置し、雨竜川と沼田ポン川に挟まれた、比較的なだらかな地形である							
	イ 土 質		細粒グライト、細粒強グライト、中粗粒褐色低地土							
	ウ 土 壤		強粘土構造型、強粘土還元型、斑鉄盤層型							
	エ 気 象									
	平均気温		6.2℃		かんがい期平均気温		16.4℃			
	平均降水量		1,247.4mm		積雪深		222cm		平均降水日数	
根 雪 期 間		11月27日から4月7日		無霜期間		5月6日から10月16日				
オ 水利状況		雨竜川沼田第1頭首工の水掛かり区域								
カ 営農状況		基幹作物：水稻 転作物：小麦、大豆、そば、トマト								
キ 地域環境の概況		原始的な自然環境はなく二次的な自然環境であり、里地里山的な自然環境である。								
(3) 地積及び受益戸数										
地目		田	畑	原野	山林	その他	計		受益戸数	
区分		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			
基本 計画	区画整理	現況	21.9	0.1		0.9	22.9		6戸	
		計画	21.5	0.3		1.1	22.9			
	農業用排水施設	現況	76.2					76.2		10戸
		計画	75.8					75.8		
	全体	現況	76.2	0.1		0.9	77.2		10戸	
		計画	75.8	0.3		1.1	77.2			
(1) 事業計画内容										
区画整理、農業用排水の整備を行い、優良農地の利用、集積による経営規模の拡大を図ると共に農業生産性の向上を図る。										
(2) 環境との調和への配慮										
工事施工に当たり、騒音、振動、大気汚染等の問題を検討し周辺地域の環境に万全を期すよう努める。										
工事 又 は 管 理 の 要 領	主 要 事 業 計 画	事業種		受益面積		事業量及び事業内容				
		区画整理		21.8 ha		整地工 A = 21.8ha 暗渠排水 A = 21.8ha 用水路 L = 964m 排水路 L = 496m 道路 L = 354m				
		農業用排水施設		75.8 ha		用水路 L = 6,043m 排水路 L = 793m				
	造成又は改良される施設の管理方法等	施設名		管理団体名		管理方法				
		用水路 排水路 耕作道		沼田町土地改良区		草刈り、土砂上げ等				

換 地 計 画 の 要 領	(1) 換地計画樹立の必要性									
	本地区は、農業競争力強化基盤整備事業により区画の整形化等生産基盤の整備を図り、農業の近代化を目指している。また、併せて分散した農用地の集約化を図ることとしていることから、本事業により改良される権利関係の調整並びに農用地の集約化を図る上で換地計画の樹立が必要となる。									
	(2) 換地計画樹立の基本方針									
	ア 従前の土地の地積の基準									
	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、この日から3ヶ月以内に測量士等の資格を有する者が測量した実測図及びその土地に隣接した土地の所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。									
	イ 農用地集約の方法									
	換地区	地帯別、グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		位置選択 1戸当たりの目標団地数 区画畦畔の取り扱い					
	高穂西	該当なし	換地は各人の従前の土地が最も密集した位置を中心を選択する。		一戸当たりの団地数は、概ね1団地を目標とする。		固定畦畔			
	ウ 非農用地の換地方針									
	換地区	種類	非農用地区域の位置の概略		面積	換地の手法	換地取得 予定者	その他		
高穂西	該当なし									
エ 清算の方法 条件差差積清算方式										
(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積										
換地区	機能交換に係る土地		一般国 公有地		合計					
-	国有地	道有地	市町村有地	計	-	-	-	-		
(4) 換地処分の際の特別										
区画整理工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法89条の2第10項で準用する同法第54条第2項ただし書きの規定に基づき換地処分を行うことができる。										
費 用 の 概 算	事業種	事業費	負 担 区 分				工 期			
			国	道	地元					
	区画整理	千円	千円	千円	千円	R8～R16				
	農業用排水施設	1,564,000	860,200	508,300	195,500					
	調査費	536,000	294,800	174,200	67,000					
合 計	200	100	100							
合 計	2,100,200	1,155,000	682,600	262,600						
効 用	(1) 事業の効用									
	区画整理を行うことで、農作業の作業性の効率化を図る。また、総費用総便益比については1.86である。									
	(2) 事業効果額									
	効果項目	食料の安定供給に資する効果	農業の持続的発展に資する効果	農村の振興に資する効果	多面的機能の発揮に資する効果	その他効果				
	効果額(千円)	61,873	704	1,076	-	1,297				
(3) 事業負担の見通し										
事業費負担について、増加所得償還率が11.49%と40%未満であるため事業費負担については問題ない。										
農 業 用 排 水 施 設	(1) 事業の効用									
	用排水施設の整備を行うことで、用水利用の効率化と排水性の改善を行い、営農の効率化と生産性の向上を図る。また、総費用総便益比については、1.50である。									
	(2) 事業効果額									
	効果項目	食料の安定供給に資する効果	農業の持続的発展に資する効果	農村の振興に資する効果	多面的機能の発揮に資する効果	その他効果				
	効果額(千円)	142,428	2,934	15,156	-	11,223				
(3) 事業負担の見通し										
事業費負担について、総所得償還率が17.5%と20%未満であるため事業費負担については問題ない。										
他 事 業 と の 関 係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法							9 計画概要図		
	該当なし							別図のとおり		
(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法										
該当なし										
10 その他										